

# MCS 税理士法人立川事務所通信

12月号 VOL. 172

## MCS 税理士法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町 3-11-4 東京ロジテック千代田ビル 4 階

電話：042-595-7671 FAX：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp> mail:info@mcs-office.jp

相続専用 HP：<http://www.souzokushien110.com/>



えんまん

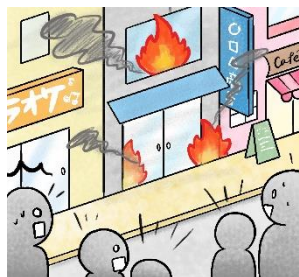
遺言相続支援センター

ChatGPT など生成 AI の進化によって今年には多くの人が「人類と AI」について考えたようです。人間の頭脳労働を精密機械に置き換えていくと何が起こるのか。世の中の大きな流れを眺めつつ足元を固めていくバランス感覚が、仕事でも暮らしでも大事になりそうです。今年もお疲れさまでした。良いお年をお迎えください。

## 知っどこ! 「税」の マメ知識

### 今月のマメ知識：【火災保険金に関する税金の取り扱い】

万が一のときのために個人で火災保険に加入している家庭も多いと思います。不幸にも火災が発生してしまった場合、支払われる保険金は損害を埋め合わせる資金であるため、所得税法では非課税とされています。



支払われた保険金が実際の損害額よりも少なく、その保険金だけで損害の全てを補うことができなかった場合は「雑損控除」として確定申告をすれば、税金が還付されることもあります。しかしながら個人が小売業などの事業を営んでいる場合、例えばその店舗において火災が発生して商品等が消失し保険金を受け取った場合には、その保険金は事業収入として計上しなければなりません。つまりその保険金は、税金の申告対象となるのです。一方、法人契約の火災保険の場合、例えば不動産賃貸業などを営んでいる会社の建物が、火災に遭った際に支払われる保険金は、全て課税の対象となります。このように契約形態の違いなどによって、支払われる保険金に関する税金の取り扱いもさまざまとなります。

## 世界の偉人伝

### 今月の偉人：【ピカソ】

パブロ・ピカソはスペイン出身の芸術家で、フランスを拠点に活動した 20 世紀最大の巨匠です。絵画の他、彫刻や版画など 14 万点以上を制作し、多作な美術家としてギネスブックに記されています。「アヴィニョンの娘たち」「ゲルニカ」など世界的な傑作を数多く残しました。作風の変化はめまぐるしく「青の時代」や「キュビズムの時代」など時代により大きく変貌を遂げています。「いかなる創造活動も、初めは破壊活動だ」の言葉どおり、自らの芸術を追求し続けた画家だったのです。

## 気軽に Let's 英会話

### 今月のキーワード：【bound】

慌ただしい年末年始ですが、接客業では旅行者の動向が気になる場所ですね。「インバウンド」は「訪日観光客」の意味でよく使われていますが、“inbound”は「入ってくる・帰航の・市内に向かう」の意味で「外国からの観光客」は、正確には“inbound tourists”です。また郊外へ向かう「下り電車」は“outbound train”といい“bound”には「～行きの」という意味があります。東京行きの新幹線では“This is the Nozomi Superexpress bound for Tokyo.”のアナウンスが流れています。



### 今月のトピック：【シニアのLINE】

SNSのLINEがシニア層に浸透しています。電子メールに代わって、離れて暮らす家族とのコミュニケーションや地域活動の連絡網などにスタンプも使える手軽さが好評だとか。70歳代の所有率が7割を超えるスマートフォンの普及もLINE拡大の理由のひとつ。人生百年時代、お年寄りが新しいアプリを使いこなす姿は頼もしい限りです。



### 才人の言葉

一歩踏み出せるなら  
もう一歩も踏み出せる

アメリカのロッククライマーであるトッド・スキナーの言葉。何事も「最初の一歩」は勇気がある。だが、その一歩さえ出せれば次の一歩は意外と簡単に出るものだ。

### 振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

#### 今月の商売のヒント：【奈良と鹿で商売繁盛！？】

イギリスのことわざに「馬を水辺に連れて行けても水を飲ませることはできない」があります。他人に対してチャンスを与えることはできても、それを実行するかどうかは本人のやる気次第という意味です。



しかしやる気を高めることは、不可能ではありません。例えば、社員にかけ言葉を変えるだけで驚くほど効果が上がることもあります。その言葉とは

「なら」と「しか」。この仕事は〇〇さん「なら」できる。この仕事は〇〇さん「しか」できない。この2つの言葉は相手に信頼感や期待感を与えます。言われた人は「自分の能力や責任を認められた」と感じて、やりがいや自信を持ちます。また自分だけができる仕事だと思えば、他人に負けたくないという競争心も芽生えます。これらの感情は、やる気を高める強力なモチベーターとなるでしょう。社員に対して「なら」と「しか」を徹底して使うようにした結果、みるみる業績が回復したというウソのような本当の話があります。ほかにも「△△といえば〇〇さん」も人を動かす強力な言葉です。これは相手の専門性や独自性を認めたことになり、言われた人は「自分の特徴や強みをいかせる」と感じて、仕事に情熱や創造性を持つことでしょう。このように言葉を変えるだけで人をやる気にさせることができるのです。お金も時間もかかりません。ただし相手をよく観察する必要があります。社員の良いところをノートに記している経営者を知っていますが、それには1人につき20個以上の長所や強み、得意なことが書かれていました。彼の会社は業績も人材もトップクラス。人をやる気にさせる名人というわけですね。

### トナリの本棚

#### 【やさしさを忘れぬうちに】

映画化された川口俊和の人気小説シリーズ最新作。喫茶店のある席に座ると過去に戻ることができる。おいしいコーヒーを飲みながら楽しみたい一冊です。



部屋干しの洗濯物を早く乾かすには、洗濯物の下に一度くしやくしやにして広げ直した新聞紙を敷きます。新聞紙が余分な湿気を吸収して気になるニオイも取ってくれます。風通しの良い場所に干し、丈の長いものと短いものを交互に干すのも早く乾かすコツです。

知って得する知恵袋